

「骨髄移植しかない」と言われた難病の症状が
段々と軽くなってきました。

「完治した耳の閉塞感。良くなっていく治療に感謝
(慢性活動性 EBV 感染症途中経過)」

匿名希望 58 歳

2017 年 8 月 1 日

今から 5 年程前、突然耳がふさがってしまい、耳の中で音が反響してしまいました。聞こえも悪くなっていました。そんな時、姉と話しをしていると、耳の話になりました。そして、松本医院の話を聞きました。さっそくホームページを読み、その後、松本医院に行きました。その時は、3 回程漢方を送って頂きました。すると閉塞感もなくなり治ってしまいました。まさか、その 5 年後、こういう形で、先生にお世話になるなんて思いもしませんでした。

事の発端は年 1 回やっている健康診断で要再検査の結果が出たことでした。再検査に行くと、「風邪でもひいたのだろう」との事で、私も軽く考えていました。しかし、その頃から喉の痛みや疲れがあり、風邪をひきやすくなっていました。(今まで、健康診断で再検査になった事もなく軽く考えていました)

原因もわからないまま、月 1 回の検査を繰り返していました。それから 3 年、慢性活動性 EB ウィルス感染症と言われ、「どうする事もできないから、他へ行ってくれ」と言われ、紹介されました。しかし、そこでも「骨髄移植しかないから」と他の病院を紹介されました。その時も姉が相談にのってくれていました。

EB ウィルスと聞いて、すぐ調べてくれて、「松本医院に行こう」と言ってくれました。先生のホームページを読み直し、恥ずかしながら松本医院にかかりました。

今現在は、のどの痛みもとれ、手足に起こっていた痙攣も、手に時々なるくらいまでに減りました。松本先生、本当にありがとうございます。これからも免疫を落とさない生活を心がけていこうと思います。これからもよろしく願い申し上げます。



